同価格帯のステレオパワーアンプに匹敵する音質を実現した・7chパワーアンプ

AB MM8077 Special

販売価格￥370，000（税別）

コンプリートパッケージ

（インシュレーターAIRBOW Switch Leg と高音質電源ケーブル AIRBOW KDK-OFC/2.0mが付属したお買得セット）

販売価格￥385，000（税別）

限定モデル MM8077 をさらにブラッシュアップ

marantz AV8805 の相棒として 200 台限定で発売された 7ch パワーアンプ MM8077 のパーツを 120 個交換し、その音質をさらに高めたのが MM8077 Special です。外観はそれほど豪華ではありませんし、一筐体に 7ch ものパワーアンプを納める本機は、ステレオパワーアンプよりも「性能が劣る」ように見えるかも知れません。けれど、その実力は同価格帯のステレオパワーアンプと比べても何ら引けを取ることはありません。

2019 年 7 月に開催された音展 2019 でサラウンドのフロントとして使った 23cm 口径ウーファーを 3 台搭載する、大型スピーカー「Vienna Acoustics The Music（380 万円・ペア）」を軽々と鳴らし切り、サブウーファーが不要と確信するほどの重低音を発揮したことには、何を隠そう私が一番驚かされました。

満席の会場で大音量を鳴らしてもびくともしないその駆動力の高さと、内蔵ファンによる優れた放熱性にも舌を巻きました。このアンプなら、ハイエンドのホームシアターでも十分以上の性能を保証できます。

様々な用途にご利用頂ける 7ch の高音質を低価格で実現します

このアンプの開発は、IC で構成される簡素な出力回路を持ち、ピュアでストレートな音質の USB-DAC「AIRBOW UD505 Special」で行いました。RCA 音量可変出力に MM8077 Special を直接繋ぎましたが、プリアンプの助けを借りなくても色彩感の濃い艶やかで広がりのある音質が発揮されました。AV8805 Special と組み合わせた最終確認では、今までに発売してきた AIRBOW AV セパレートアンプの中でも抜きんでた細やかさと滑らかさ、音楽表現能力を発揮し、各社から発売される最高級プリメインアンプに肉薄するほどの高音質を実感しました。

7ch 同時駆動でもその音質は変わりませんから、ステレオスピーカーの Bi-AMP 駆動用として、あるいは 3Way までのスピーカー・マルチアンプ駆動にも十分対応できると思います。

MM8077 Special の主な仕様

- 入力端子：RCA/XLR 各 7ch（切替式）
  マランツリモートバス（RC-5）入出力×1
  DC トリガー入出力×1、IR フラッシャー入力×1
- スピーカー出力端子：7 系統
- 定格出力（8Ω）：150W×7（8Ω）
- 入力感度：RCA（1.2V）、XLR（2.4V）
- 周波数特性：8Hz～100KHz（±3db）共通
- 消費電力：800W、待機電力 0.4W（AC100V・50/60Hz）
- 外形寸法：W440×H185×D384 ㎜
- 重量：18kg